

1. 2024 年東京消防庁委託研究のご報告

火気器具上部に設置される排気ダクトの火災抑制方策に関する調査研究見学会

9 月 17 日(火)東京理科大学野田キャンパス火災実験棟において上記委託研究の燃焼実験見学会と厨房委員会を開催いたしました。



東京理科野田キャンパス火災実験棟で行われ燃焼実験の様子

本実験に向けて予備実験を何度も重ね 9 月上旬残暑厳しい中、燃焼実験が行われ東京消防庁の方と会員企業のシンガ株式会社小嶋様、株式会社エアーアンドウォーター末光様の全面的なご協力を頂き無事燃焼実験を終えることができました。今後はデーター取りまとめ作業後報告書を作成する予定です。委託研究終了後には会員企業の皆様へご報告いたします。

今回の委託研究の目的は、七輪等の火気器具を客席テーブル上に設置する方式の飲食店(焼肉店)では調理により発生する煙および臭気等を上方に設置した上引き排気ダクトにより排気する店舗が増えているが、消防庁において上引ダクトに関する基準や指導が現在ない。

上引きダクトの火災は年々増えており、効果的な技術基準を設けることを目的に今回の研究が行われることとなりました。



厨房委員会の様子



見学会後には厨房委員会が開かれ、東京消防庁金野様より委託研究・実験の説明を受け、総務省消防庁泉様より「令和 6 年秋季全国火災予防運動」の実施通達分の中に防火対象物の用途等に応じた防火安全対策の徹底の周知広報資料として、JADCA のビジネスモデル委員会で作成した左記リーフレット活用されたとの報告を頂きました。

会員企業の皆様も是非営業ツールとしてお役立て下さい。

*こちらのリーフレットはホームページより購入できます。
詳しくは事務局までお問い合わせください。

2. JADCA 研修・活動予定 10月～12月

日付	内容	開催形式／会場
10月4日(金)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
10月10日(木)	空気調和用ダクト清掃従事者研修 2年目以降研修	オンライン研修 (ZOOM)
10月11日(金)	近畿中四国支部会・懇親会	大阪 梅田
10月17日(木) 10月18日(金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)
10月23日(水)	理事会	新橋 外部会議室 スペイシー
11月8日(金)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
11月19日(火)	東西関東支部懇親ゴルフコンペ	PGM あさひが丘 CC

3. JADCA 活動のご報告 7月～9月

日付	内容	開催形式／会場
7月8日(月)	理事会	新橋 外部会議室 スペイシー
7月24日(水)	総務委員会	JADCA 新橋事務所
8月2日(金)	第2回東京消防庁委託研究検討部会	東京理科大学 神楽坂キャンパス会議室
9月6日(金)	ビジネスモデル委員会	会場・オンラン会議
9月6日(金)	オンライン勉強会 横浜油脂工業株式会社 説明勉強会 ケミカルの基本情報・現場に応じたケミカルの選定」	会場・オンライン研修 (ZOOM)
9月10日(火)	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所
9月12日(木)	空気調和用ダクト清掃従事者研修 1年研修	オンライン研修 (ZOOM)
9月17日(火)	第3回東京消防庁委託研究検討部会 第2回厨房委員会 本実験見学会	東京理科大学野田 キャンパス火災実験棟
9月19日(木) 9月20日(金)	空調システム診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)

4. 新会員のご紹介

東関東支部

株式会社ケディック

〒320-0848 栃木県宇都宮市幸町 12-14

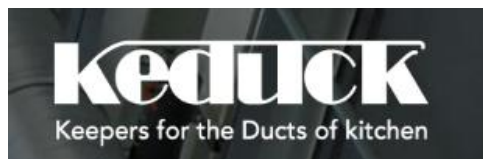
TEL : 028-678-3335 FAX : 028-678-2730

代表者 福田 知嗣

担当者 大竹 宏彰

URL : <https://keduck.com/company>

E-mail : soumu@keduck.co.jp



西関東支部

株式会社マルイファシリティーズ

〒164-0001 東京都中野区中野 3-34-28

TEL : 03-3229-0101 FAX : 03-3229-5622

代表者 羽生 典弘

担当者 高瀬 巖 (課長)

URL : <https://www.marui-facilities.co.jp/>

E-mail : iwao-takase@0101.co.jp



近畿中四国支部

株式会社 SUNS

〒733-0871 広島県広島市西区高須 3-2-17

TEL : 082-909-2206 FAX : 082-548-4621

代表者 畑 真司

担当者 畑 真司

URL : <https://suns-5.com/>

E-mail : info@suns-5.com



九州支部

TOM サービス

〒861-2244 熊本県上益城郡益城町寺迫 1324-1-103

TEL : 080-5274-1545 FAX : 096-221-2037

代表者 西村 宣昭

担当者 西村 宣昭

URL : <https://tom-clean.com/access/>

E-mail : tom_clean.nsmr@outlook.jp



賛助会員

株式会社フカガワ

〒332-8555 埼玉県川口市西青木 2-9-5

TEL : 048-257-3111

代表者 深川 和己

担当者 池上 一孝 (次長)

URL : <https://www.ductnet.com/>

E-mail : ikekazu@ductnet.com



ビジネスモデル委員会主催 会員向け勉強会



9月6日(金)ビジネスモデル委員会主催の会員企業向け勉強会が開催されました。

横浜油脂工業株式会社様をお招きして「ケミカルの基本情報・現場に応じたケミカルの選定」についてご講義頂きました。

普段現場で使われている洗剤の適正・特徴・選定そして使用後の廃液処理方法・下水への排出規制・河川や海域に排出される水質の規制の法律等も詳しくお話頂き受講された会員様からも多数質問が上がりより深く理解することができたことと思います。

今後もビジネスモデル委員会において勉強会を企画していきますので是非ご受講下さい。



会員企業 200 社 診断士 1000 名 達成プラン

JADCA 会員企業限定！2024 年度プラン

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

- ・ 1 社紹介した会員企業には協力金として **10,000 円の商品券**を提供します。

※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

- ・ 正会員企業の方は年間で各養成研修厨房診断士 1 名、空調診断士 1 名の受講料を**無料**にします。

※2024 年度 2 回目の講習 (2 月 空調・3 月厨房) 11 月に開催日を告知致します。

JADCA 臨時社員総会の予告

2025 年 2 月 13 日(木)

アートホテル日暮里ラングウッド

14 : 00～16 : 30 臨時社員総会

17 : 00～18 : 30 賀詞交歓会

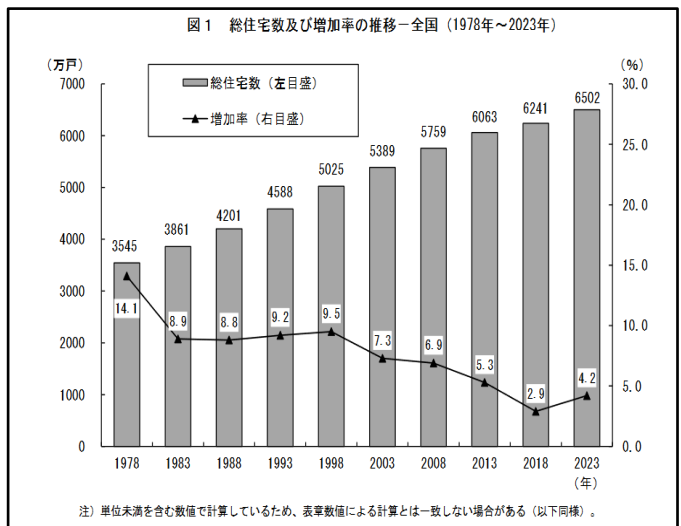
環境を考える 空き家問題



筆者はエコステージ協会の評価員として、JADCA会員の皆様と環境マネジメントシステム・エコステージ、及び会員企業特有の要素を取り入れたJADCA版EMS（環境マネージメントシステム）の構築・運用のお手伝いをして来ましたが、今回は、もう一つの活動である空き家問題についてご紹介します。

1. 人口減少の中で増える住宅総数

少子化が叫ばれて久しくなり、我が国の総人口は2005年に戦後初めて前年を下回った後、2008年にピークとなり、2011年以降は11年連続で減少しています。加えて、空き家数の発生に大きな要因と考えられる世帯数の推移で見ても、2015年頃がピークでその後は、世帯数も減少局面に入っています。そのようなトレンドであるにも拘わらず右のグラフは総住宅数が増加を続けていることを示しています。即ち空き家数がさらなる増加が懸念される状態にあります。



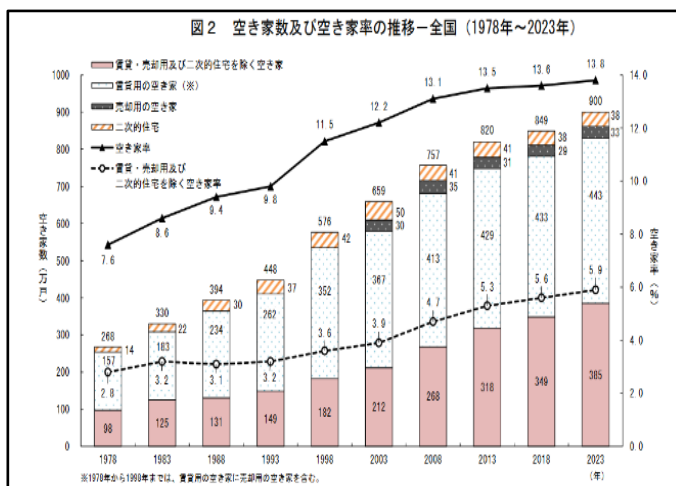
2. 空き家が生む様々な問題

空き家の定義では一般的に考える空き家とは異なるものも含まれますので、ここでは住宅街に点在する長期間無人で使用されていないものを対象にお話しします。

空き家から発生する主な問題には、①放火など火災の恐れ、②不審者・犯罪者の侵入、③景観の悪化、④倒壊のおそれ、⑤衛生状態の悪化が挙げられます。

火災の発生原因はたばこ、たき火、コンロと続き4位が放火ですが、被害額別に見ると1位放火の疑い、2位放火で空き家が放火の対象となるケースが多いのですが、人が住んでいる家屋への放火は「現住建造物等放火罪」として重罪に問われるのに対し、空き家への放火は心理的ハードルが下がることが犯行を生む遠因ではと考えられます。

また、無人となった空き家では様々な害獣が住み着き近隣住民に多大な迷惑を及ぼすことがあります。実際に私の知人で、隣家の空き家からに庭に入り込んだ1メートルを超える蛇を発見したショックからの高血圧でその後無くなるという悲しい出来事もありました。



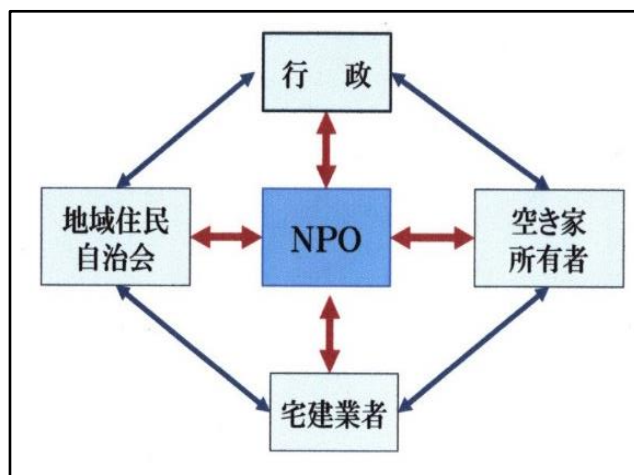
3. 空き家が増える背景 近隣住民に多大な迷惑を及ぼす空き家ですが、空き家を生み出す要因の一つに、ライフスタイルの変化も関係しています。分かりやすい例を挙げますと、一人っ子の男女が結婚すると近い将来に空き家が2軒発生するということです。いつ頃からか親との同居はほとんどなくなりましたので、結婚した子供たちは家を出て、自分たちで居を構えるのが普通になり、親がなくなるか、施設に入るとそこに空き家ができるという現実が変わることはないと思います。

また、発生した空き家が、改修費の大きさ等から市場に供給されないというケースも多くあります。空き家状態が長引けばほとんどリフォームによる再利用の可能性はなくなります。古民家が洒落たレストランに生まれ変わったという例もありますが、それは例外でほとんどの空き家はやがて来る取り壊しの日を待っているのが現状です。

4. 空き家問題への取組みの難しさ

多くの人にとって厄介者の空き家ですが、所有者から見れば私有財産であり、現時点で利活用の必要がないので何もせず保持している(外部から見れば放置)と思います。

NPOの立場としては、空き家の影響を受ける近隣住民の方ではなく、一人でも多くの所有者の方々に空き家の影響と利活用等の解決策のヒントを伝える機会を増やしたいと思います。個人情報壁もあり、行政が持っているかもしれない空き家所有者のデーターを入手することも極めて難しく、同年代の仲間が集まってNPOを立ち上げましたが想像したような成果は上げられずに今日まで来ていますがシルバーパワーを結集して頑張っていきます。



(株)日本環境マネジメント研究所代表取締役
NPO空き家安全管理ネットワーク理事長 新井 孝

事務局 etcetera（エトセトラ）

～ 北海道ボールパーク F ビレッジ ～

小学生の頃から近所や学校の友だちと近くの公園や空き地で野球をして遊んでいました。その頃の時代は、公園で野球やボール遊びも出来ましたし、空き地で野球をしたりする事が普通に出来ていた様に思います。（本来はダメな場所もあったのかも・・・）そんな中、少年野球チームに入り、中学、高校と野球にのめり込んでいきました。中学、高校ではほぼ野球をしていた記憶しかありません。

2004 年からプロ野球日本ハムファイターズが、本拠地を北海道札幌ドームへ移転となり北海道民にとって、プロ野球がより身近に感じるようになりました。同じ頃に、高校野球でも北海道代表のチームが甲子園で優勝するなど、野球を通して北海道が大いに盛り上がったと感じました。そんな中、昨年 2023 年に開業した日本ハムファイターズの新球場

「北海道ボールパーク F ビレッジエスコンフィールド Hokkaido」屋根開閉式のドーム球場です。

開業以来、私も何度も観戦に行っていますが、フィールドでプレーする選手の近さ、天然芝の香り、球場内通路どこからでもフィールド内を見ることが出来たり、たくさんのグルメなど訪れるたびに「ワクワク」して、また行きたいと思わせてくれる場所です。加えて推しのファイターズが勝利してくればより最高です。



試合のない日でも、無料で入場することができ、球場内を見学したり、食事をしたりすることが出来ます。スタジアムツアーもあり、スタジアム内の普段は入ることが出来ない場所などファイターズガールが案内してくれます。スタジアムのほか、ボールパーク内にもアミューズメントがたくさんあり、子供から大人まで楽しめる場所です。

私を含め家族全員、行くチャンスがあればファイターズの応援をしつつ、エスコンフィールドを楽しんでいます。あまり野球に興味のない方も、ぜひ北海道にお越しの際は、エスコンフィールド Hokkaido に来てみてはいかがでしょうか。



おなじみダルビッシュと大谷の壁画



スタジアムツアー

written 村上 克裕
(所属会社：㈱富士クリーン)

編集後記

JADCANEWS の中で紹介されておりました東京消防庁委託研究の燃焼実験見学会、WEB を活用したオンライン勉強会と、会員企業の皆様が参加できる企画を各委員会のご協力を頂き開催させて頂きました。参加した方にとって有益な学びの時間を過ごして頂くと同時に会員企業同士のつながりを育むきっかけになる事を望んでおります。これから数多くの参加型の企画を提供していければと思っておりますので、その際は是非ご参加いただければと思います。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 7 階
TEL 03-6274-6064 FAX 03-6274-6065
E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>